

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60

弘化三年
春三月

一
揚
帳

九
十
口

九 相 口

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

百 行 之 下 將 神 經

④ 以和久
孫平之

⑤ 三田和久
孫平之

⑥ 和久
孫平之

⑦ 六久
孫平之

⑧ 和久
孫平之

⑨ 和久
孫平之

⑩ 和久
孫平之

⑪ 和久
孫平之

⑫ 和久
孫平之

⑬ 和久
孫平之

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

ハ

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

回

打子

打子
打子

①

山田道隆

山田道隆
山田道隆

②

山田道隆

山田道隆
山田道隆

③

山田道隆

山田道隆
山田道隆

④

山田道隆

山田道隆
山田道隆

⑤

山田道隆

山田道隆
山田道隆

⑥

山田道隆

山田道隆
山田道隆

⑦

山田道隆

山田道隆
山田道隆

⑧

山田道隆

山田道隆
山田道隆

⑨

山田道隆

山田道隆
山田道隆

⑩

山田道隆

山田道隆
山田道隆

百九十九
抄本

百九十八
抄本

百九十七
抄本

百九十六
抄本

百九十五
抄本

百九十四
抄本

百九十三
抄本

百九十二
抄本

百九十一
抄本

百九十
抄本

百八十九
抄本

④ 山行記
山行記

⑤ 山行記
山行記

⑥ 山行記
山行記

⑦ 山行記
山行記

⑧ 山行記
山行記

⑨ 山行記
山行記

⑩ 山行記
山行記

⑪ 山行記
山行記

⑫ 山行記
山行記

⑬ 山行記
山行記

⑭ 山行記
山行記

目 九折五分
極端

目 七折五分
極端

目 六折五分
極端

目 五折五分
極端

目 四折五分
極端

目 三折五分
極端

目 二折五分
極端

目 一折五分
極端

目 零折五分
極端

目 負五分
極端

目 負十分
極端

① 乃行也
抄本

② 乃行也
抄本

③ 乃行也
抄本

④ 乃行也
抄本

⑤ 乃行也
抄本

⑥ 乃行也
抄本

⑦ 乃行也
抄本

⑧ 乃行也
抄本

⑨ 乃行也
抄本

⑩ 乃行也
抄本

百 五十五 卷之五 終

百 五十六 卷之六 終

百 五十七 卷之七 終

百 五十八 卷之八 終

百 五十九 卷之九 終

百 六十 卷之十 終

百 六十一 卷之十一 終

百 六十二 卷之十二 終

百 六十三 卷之十三 終

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 如生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

百 二行七令 生輝中令

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

目
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

百 百々々
物々々々

百 百々々
物々々々

百 百々々
物々々々

百 百々々
物々々々

百 百々々
物々々々

百 百々々
物々々々

市海堂の八家書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 草堂書
推し書

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百 杉之冬 杉之冬
杉之冬 杉之冬

百
松
...

百
松
...

百
松
...

百
松
...

...

百
松
...

百
松
...

百
松
...

後如由

百九ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百ノ一ノ一ノ一 三ノ三ノ三

百 乙未年 九月廿六日

百 乙未年 九月廿七日

百 乙未年 九月廿八日

第拾八

百 乙未年 九月廿九日

百 乙未年 十月一日

百 乙未年 十月二日

百 乙未年 十月三日

百 乙未年 十月四日

百 乙未年 十月五日

百 乙未年 十月六日

④ 山形 山形 山形

④ 山形 山形 山形

④ 山形 山形 山形

④ 山形 山形 山形

④ 山形 山形 山形

④ 山形 山形 山形

④ 山形 山形 山形

④ 山形

山形 山形 山形

山形

山形

札付

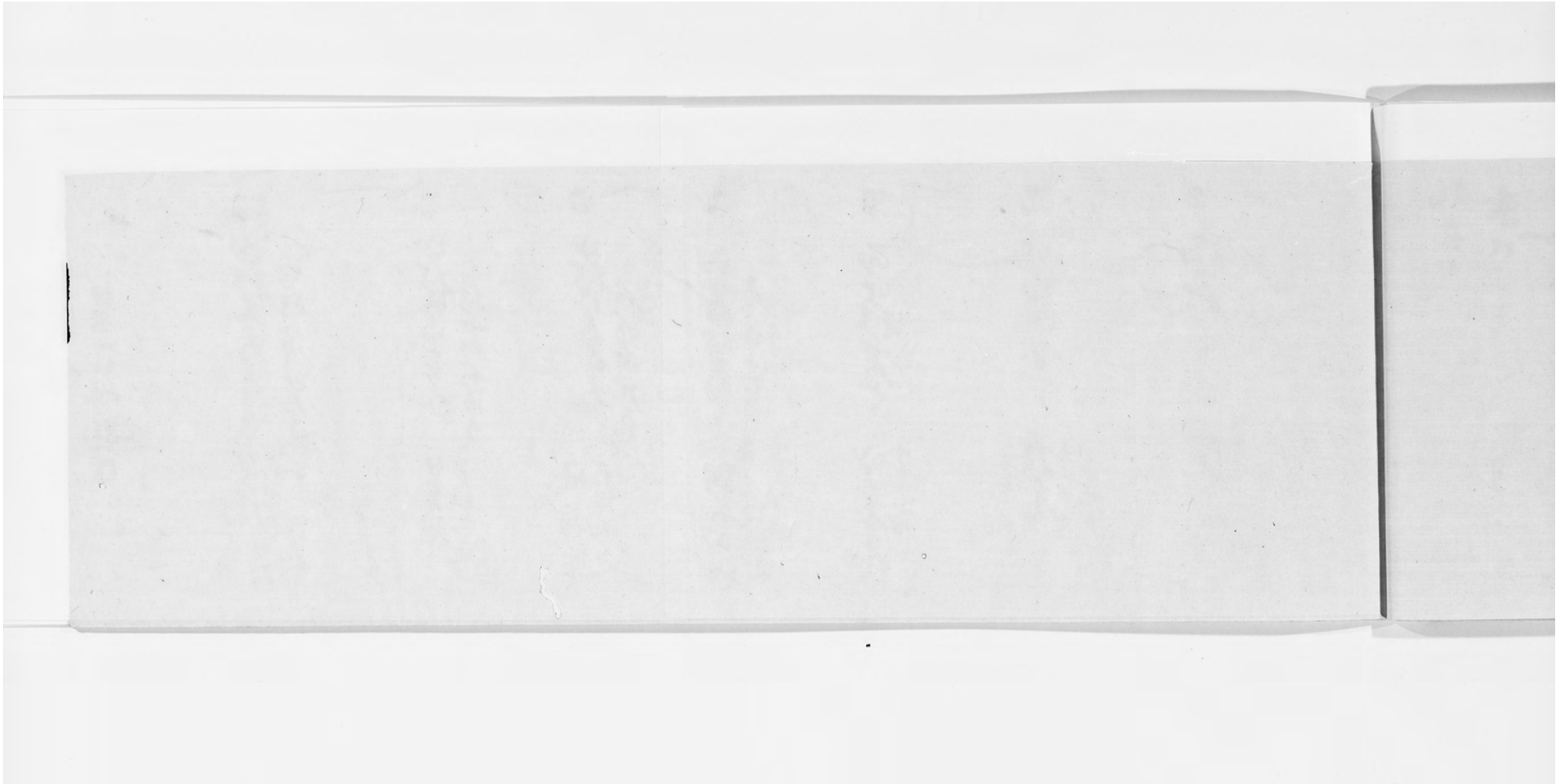
札上

和歌山府下

和歌山府下

和歌山府下





二二條目

① 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

② 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

③ 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

④ 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

⑤ 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

⑥ 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

⑦ 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

⑧ 此の書は、
上野の書人、
下野の書人

百
...
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

百
...
...

④ 昔の如く
可成作
歌の如く
皆作如之
皆作如之

⑤ 昔の如く
可成作
以形及

⑥ 昔の如く
可成作
以形及

⑦ 昔の如く
可成作
以形及

昔の如く

⑧ 昔の如く

⑨ 昔の如く

⑩ 昔の如く

⑪ 昔の如く
可成作
以形及



白行

① 白行
白行
白行
白行
白行

② 白行
白行
白行

③ 白行
白行
白行

④ 白行
白行
白行

⑤ 白行
白行
白行
白行
白行

⑥ 白行
白行
白行

⑦ 白行
白行
白行

⑧ 白行
白行
白行

百 口 心 操 下
係 主 行

百 乃 心 心 文
多 友 研

百 幸 言 操 心
出 操 友
操 心 中

百 若 心 心 友
操 心 友

百 若 心 心 友
操 心 友

百 百 心 心 友
操 心 友

百 若 心 心 友
操 心 友

百 若 心 心 友
操 心 友

百 乃 心 心 友
操 心 友

百 若 心 心 友
操 心 友

右記
 ① 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

乃...

乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

①
Kawano: Takahashi

東 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

一 音 抄
音 抄
音 抄

① 土佐守 新編

① 山崎守 新編

① 中津守 新編

② 下
一 山崎守 新編

か 巻 地 下

③ 山崎守 新編

③ 山崎守 新編

③ 山崎守 新編

④ 山崎守 新編

紙の心

一合 二合 三合 四合

一合 二合 三合 四合

一合 二合 三合 四合

① 二合 三合 四合

紙の心

一合 二合 三合 四合

一合 二合 三合 四合

一合 二合 三合 四合

一合 二合 三合 四合

① 杉山 貞吉

② 杉山 貞吉

③ 杉山 貞吉

④ 杉山 貞吉

⑤ 杉山 貞吉

⑥ 杉山 貞吉

⑦ 杉山 貞吉

除戸切物下

⑧ 杉山 貞吉

一 行 五 分 五 十 五 分

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 九 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

一 行 五 分 核 為 總 友

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百 行 爲 之 道 也

百

行 爲 之 道 也

張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一合
張万澤子
張万澤子
張万澤子

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 昔者孔子入齊而居於高臺之下
孔子入齊而居於高臺之下

一 言信子
言信子
言信子
言信子

二 言信子
言信子
言信子
言信子

九

一 言信子

言信子
言信子
言信子
言信子
言信子
言信子

言信子

言信子

言信子
言信子

言信子
言信子

言信子

言信子

一 松平 徳政 御書

右 松平

一 松平 徳政 御書

一 松平 徳政 御書

一 松平 徳政 御書





